

作成番号:0332

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-332

内容:母親の産前、産後、周産期うつ病と子供の自閉スペクトラム症との関係

出典:Maternal pre- and perinatal depression and the risk of autism spectrum disorders in offspring: systematic review and meta-analysis.

BJPsych open. 2025 Jun 04;11(4):e117. pii: e117.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40462259/>

母親の産前、産後、周産期うつ病と子供の自閉スペクトラム症(ASD)との関係について、オーストラリア・カーティン大学の研究者らは、システムティックレビューおよびメタ解析を実施した。その結果を BJPsych Open 誌 2025 年 6 月 4 日号に報告した。

2024 年 2 月 21 日までに公表された研究を、PubMed、Medline、EMBASE、Scopus、CINAHL、PsycINFO よりシステムティックに検索し、ランダム効果モデルを用いてメタ解析を実施し、サマリー効果推定値はオッズ比(OR)、95%信頼区間(CI)として算出した。最終分析には、160 万組超の母子を対象とした 12 件の研究が含まれた。ランダム効果メタ解析では、子供における ASD 発症リスクは、妊娠前にうつ病を経験した母親の場合 52% (OR: 1.52, 95%CI: 1.13~1.90)、産前うつ病の場合 48% (OR: 1.48, 95%CI: 1.32~1.64)、産後うつ病の場合 70% (OR: 1.70, 95%CI: 1.41~1.99) それぞれ増加していることが明らかとなった。

メタ解析の結果、出産前、周産期、出産後にうつ病を経験した母親から生まれた子供は、ASD 発症リスクが高いことが判明した。

